

ただみ・モノとくらしのミュージアムが 開館しました!



ただみ・モノとくらしの ミュージアムが開館

ただみ・モノとくらしのミュージアムの開館式が7月22日に行われ、来賓の方や関係者など約40人が参加しました。

式典では、渡部町長が「オープンになげることができたのも、民具収集・整理に携わっていただいた町民の皆様のお熱い思いとご協力のおかげです」と感謝を述べました。その後、スタッフ紹介が行われ、最後に開館を記念してテープカットが行われました。

ただみ・モノとくらしのミュージアムは、博物館法に基づく公立博物館として設置され、専門の人文系学芸員が勤務しています。また、入館料は無料となっていますので、ぜひご来館ください。

収藏品・展示品は町民の 皆さんの思いの結晶

収蔵・展示されている民具のほとんどが国重要有形民俗文化財に指定されており、その数は2,333点になります。

これらの民具は、昭和40年代から町民の皆さんの手によって収集・記録・整理が行われ、国指定重要有形民俗文化財に指定されました。ただみ・モノとくらしのミュージアムは、これまで民具保存活用運動に携わってきた皆さんの思いの結晶なのです。

スタッフ紹介



管理員
目黒仁也



学芸員補
渡部めい



学芸員
原永円香



主任学芸員
渡部賢史

「会津只見の正倉院」

このミュージアムは、町民が収藏品を集めて建てた「町民立博物館」です。民具を始め、郷土の文化遺産や名品を見いだして、みんなで鑑賞して保存し、未来に伝えていく「会津只見の正倉院」です。文化遺産は郷土への愛着と豊かな心をもたらすでしょう。名品が集まり、人々が集う場にしていきます。ご協力をお願い致します。

館長より ご挨拶



館長
久野俊彦



本館 1 階

受付の他、郷土資料・民俗・民具の図書が収蔵されている図書室、資料の調査・研究、文化財学習を行う文化財室があります。

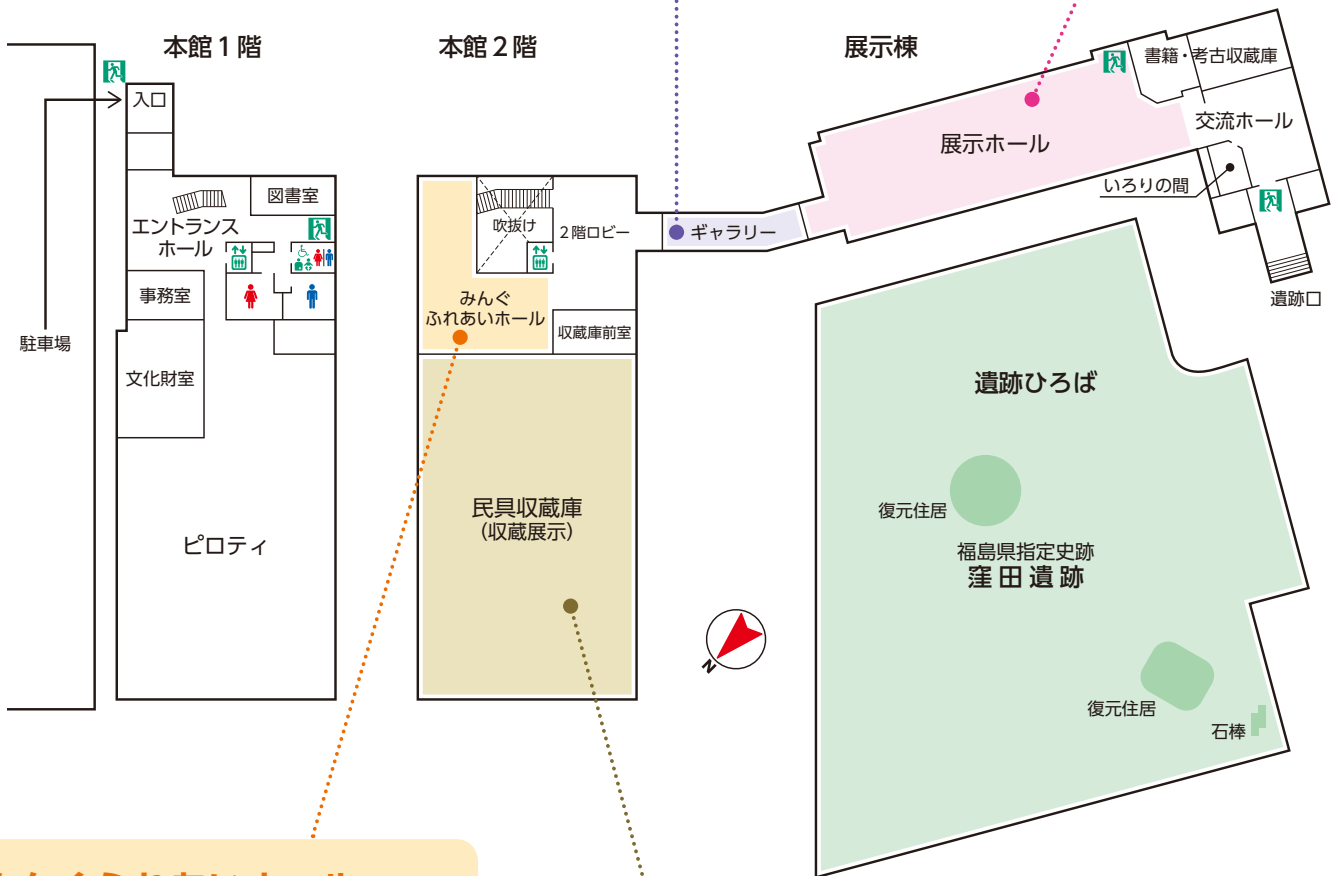
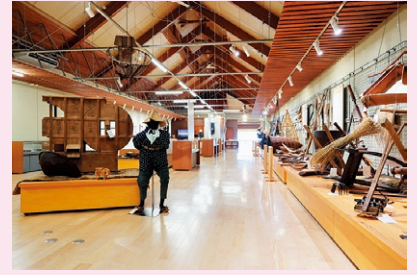
ギャラリー

絵画・写真などの展示を行います。現在は、「只見町民による民具整理のあゆみ」をテーマにパネルや民具整理に使用した道具が展示されています。



展示ホール

開館記念企画展では、収蔵品を使用していた場面ごとに章立てし、展示しています。今後さまざまな企画展を開催します。



みんぐふれあいホール

民具に実際に触れて動かすことができる「民具にふれる」コーナー、ツル細工やワラ細工を体験できる「ツルやワラを編む」コーナー、仕事着を着て記念撮影ができる「仕事着を着る」コーナーがあります。



民具収蔵庫

国指定重要有形民俗文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」2,333点が収蔵されています。「見る収蔵庫」として、職員立ち合いで見学することができます。



ただみ・モノとくらしのミュージアム

〒968-0602 南会津郡只見町大倉字窪田30 TEL: 0241-86-2175

入館料 無料

開館時間 9:30~17:00(最終入館16:30)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、12月29日~1月3日